

山間地域のいきいき百歳体操自主グループの活動継続に関連する要因

資料 7

吉田典子¹⁾ 菅谷美佳¹⁾ 金谷志子²⁾

1) 宍粟市 健康福祉部 2) 武庫川女子大学看護学部

第13回
日本公衆衛生看護学会学術集会

日時：令和7年1月4日・5日
場所：ウインクあいち

【目的】

高齢者体操自主グループの活動継続に関連する要因を明らかにし、今後の自主グループの活動支援を検討すること。

【方法】

●対象者

2022年3月末開設しているいきいき百歳体操の世話役(108人)

●方法

自記式質問紙による郵送調査を2023年12月に実施

●調査項目

- ・世話人の基本属性
- ・自主グループ活動への満足度と負担感
- ・自主グループの活動状況と活動継続の見通し
- ・自主グループ活動運営上の課題と必要な支援

●分析方法

全変数の記述統計、活動継続の見通しの有無別と、各変数との関連を検討

【倫理的配慮】

研究概要を書面にて説明し、研究の同意を書面にて確認

【結果】

調査票の回収数 102人 (回収率 94.4%)
有効回答数 100人 (有効回答率 92.6%)

表1 活動継続見通し別の対象者の概要

N=100

		活動継続の見通しの有無				P値
		見通しあり n=85		見通しなし n=15		
性別 ¹⁾	男性	40	87.0	6	13.0	.780 ³⁾
	女性	45	83.3	9	16.7	
年齢 ¹⁾	80歳未満	72	85.7	12	14.3	.545 ³⁾
	80歳以上	13	81.3	3	18.8	
世話役の活動年数 ²⁾		4.1	3.1	4.5	2.5	.501 ⁴⁾
自主グループ活動満足度:						
	愛着 ²⁾⁴⁾	16.6	2.9	14.8	3.7	.092 ⁴⁾
	自己利益 ²⁾	12.4	2.6	11.9	2.6	.405 ⁴⁾
自主グループ活動負担感:						
	日常生活合計 ²⁾	7.5	2.7	8.8	3.4	.164 ⁴⁾
	精神的負担 ²⁾	9.8	2.5	10.3	2.7	.487 ⁴⁾
	活動量負担 ²⁾	4.1	1.4	4.5	1.5	.206 ⁴⁾
活動主体 ¹⁾³⁾						
	老人クラブ	61 (88.4)		8 (11.6)		.342 ³⁾
	自治会・他	23 (20.7)		6 (79.3)		
グループ活動年数 ²⁾		7.5	2.4	7.4	2.4	.864 ⁴⁾
グループ登録者数 ²⁾		17.2	8.0	12.1	6.8	.023 ⁴⁾
1回参加者数 ²⁾		13.0	5.6	9.3	5.9	.047 ⁴⁾
前期高齢者参加割合 ²⁾		29.4	20.4	21.1	13.3	.189 ⁴⁾

欠損値を除く

¹⁾人数(%) ²⁾平均値(標準偏差) ³⁾Fisherの直接法 ⁴⁾Mann-Whitney 検定

【考察】

- ・本市のいきいき百歳体操自主グループ活動が開始して10年が経過し、活動の継続の見通しがないグループが15%存在し、自主グループ活動の支援の必要性が明らかになった。
- ・少人数のグループや世話役の役割負担が大きい自主グループへの支援の必要性が示唆された。

【活動継続に関連する要因】

- (1)少人数のグループは、活動継続の見通しがもてない。
- (2)世話役が活動継続の見通しがもてないと世話役の負担が大きい。
- (3)活動継続の見通しがもてるグループは「活動方針・内容への助言」をより求めている。
- (4)グループ全体の支援ニーズは、「①参加者募集の協力」、「②講師の紹介・派遣」、「③活動方針・内容への助言」である。
- (5)活動継続の見通しがもてないグループの支援ニーズは、「①活動場所の提供」、「②移動手段の確保」、「③参加しなくなった人へのフォローアップ」である。

【市の概況】

- ・平成17年4町が合併して誕生
- ・人口：33,835人(R6年11月末)
- ・高齢化率：38.1%
- ・面積：65,860km²(県下2位)
90%を森林が占める。
- ・令和元年「難読市ランキング」全国3位、西日本1位



図 自主グループ活動継続の見通し

表2 自主グループ活動の運営課題と活動継続見通し

N=100

		活動継続の見通しの有無				P値
		見通しあり		見通しなし		
		人数	(%)	人数	(%)	
継続的に参加して もらうことが難しい	思う	42	50.0	10	71.4	.159
	思わない	42	50.0	4	28.6	
新しい参加者が 増えない	思う	75	89.3	13	92.9	1.000
	思わない	9	10.7	1	7.1	
参加者の健康状態の 把握が難しい	思う	41	48.2	9	60.0	.577
	思わない	44	51.8	6	40.0	
参加者との意思疎通が うまくいかない	思う	10	11.8	0	0.0	.351
	思わない	75	88.2	15	100.0	
活動内容が マンネリ化している	思う	45	52.9	4	26.7	.092
	思わない	40	47.1	11	73.3	
参加者の人間関係が うまくいかない	思う	7	8.2	0	0.0	.590
	思わない	78	91.8	15	100.0	
世話役の 負担が大きい	思う	19	22.4	9	60.0	.005
	思わない	66	77.6	6	40.0	
活動場所の確保 が難しい	思う	2	2.4	1	6.7	.389
	思わない	83	97.6	14	93.3	

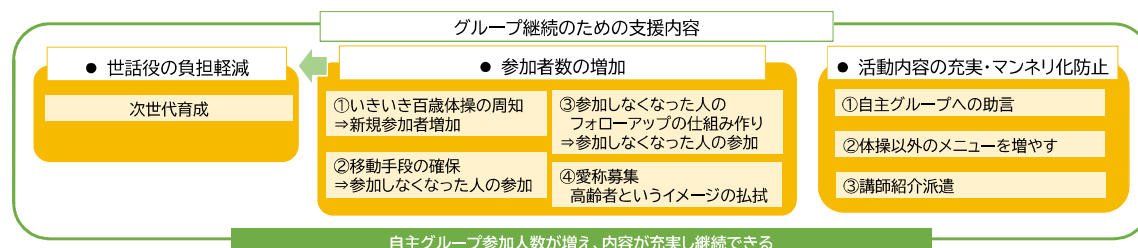
欠損値を除く カイ二乗検定

表3 活動活性化とために必要な支援と活動継続見通し

N=100

		活動継続の見通しの有無				P値
		見通しあり		見通しなし		
		人数	(%)	人数	(%)	
活動方針・内容への 助言	必要	50	66.7	2	18.2	.006
	必要なし	25	33.3	9	81.8	
講師の紹介・派遣	必要	60	76.9	7	53.8	.097
	必要なし	18	23.1	6	46.2	
参加者募集の協力	必要	47	59.5	4	30.8	.072
	必要なし	32	40.5	9	69.2	
ボランティアの 確保・紹介	必要	31	41.9	5	38.5	1.000
	必要なし	43	58.1	8	61.5	
活動場所の提供	必要	9	11.3	4	28.6	.100
	必要なし	71	88.8	10	71.4	
他グループとの 交流の取次・仲介	必要	19	24.4	2	15.4	.725
	必要なし	59	75.6	11	84.6	
移動困難者の 移動手段の確保	必要	28	35.9	6	42.9	.765
	必要なし	50	64.1	8	57.1	
参加しなくなった人への フォローアップ	必要	29	37.2	6	42.9	.768
	必要なし	49	62.8	8	57.1	

欠損値を除く カイ二乗検定



【利益相反】 演題発表に関連し、発表者らに開示すべきCOI関係にある企業などはありません